

# 源氏物語立音楽絵巻

演奏と朗読でたどる光源氏の生涯

国立劇場  
第208回邦楽公演

未来へつなぐ  
国立劇場  
プロジェクト

第七帖「紅葉賀」より  
舞 楽 青海波

第九帖「葵」より  
箏 曲 葵の上

第二十四帖「胡蝶」より  
管 絃 皇馨急  
催馬 楽 安名尊

第三十四帖「若菜上」より  
箏 曲 初若菜

第四十帖「御法」より  
舞 楽 法 会 陵 王 — 法華經千部供養より —

演奏 ◆ 雅楽 伶楽舎  
声明 天台聲明 七聲會  
箏曲 山登松和 下野戸垂弓 上村和香能 福原徹

朗読 ◆ 文学座 細貝光司 杉宮匡紀 伊藤安那 下池沙知  
演出 ◆ 文学座 小林勝也



令和6年 1月27日(土) 午後1時開演  
午後5時開演

【入場料金】 (税込・各回) 1等席 5,500円 (学生 3,900円) 2等席 4,500円 (学生 3,200円)

【予約開始】 12月18日(月) 午前10時

【電 話】 国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時) 0570(07)9900 03(3230)3000(一部IP電話等)

【インターネット】 [国立劇場チケットセンター](#)

主催 = 独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁  
令和5年度日本博 2.0 事業(委託型)

源氏物語図屏風(部分)  
メトロポリタン美術館蔵

Fifty-Four Scenes from The Tale of Genji  
Mary Griggs Burke Collection,  
Gift of the Mary and Jackson Burke Foundation, 2015  
<https://www.metmuseum.org/art/collection/search/671027>

会場  
新国立劇場 小劇場

プレトークイベント開催!  
各回開演前、カニササレアヤコ(雅楽芸人)が物語世界へいざないます。  
午後1時開演の部→12時20分から  
午後5時開演の部→午後4時20分から  
※1回20分程度、チケット購入者限定のイベントです。



National Theatre - Tokyo Presents  
Traditional Japanese Music  
The Tale of Genji in traditional music  
- The life of Hikaru Genji traced through Performance and Reading -

January 27(Sat.), 2024  
at New National Theatre, Tokyo (THE PIT)  
Booking Opens from December 18, 2023  
Box Office 0570-07-9900 (10:00am~6:00pm) [https://ticket.nj.jac.go.jp/top\\_e.htm](https://ticket.nj.jac.go.jp/top_e.htm)



# 源氏物語音楽絵巻 — 演奏と朗読でたどる 光源氏の生涯 —

『源氏物語』は平安時代（8～12世紀）に執筆された世界最古の長編小説ともいわれる王朝文学屈指の名作です。類まれなる美貌と知性、詩歌管絃の才を持つ主人公・光源氏とその子孫を中心として、様々な人間模様が五十四帖にわたって描かれます。平安貴族社会を垣間見ることができる、文学史上大変重要な物語として、現在もお読み継がれています。本公演では光源氏の生涯を、雅楽・声明・箏曲と朗読によって描き出します。『源氏物語』の絢爛豪華な世界を様々なジャンルで堪能できるまたとない機会です。ぜひご期待ください。

## 雅楽とは？

雅楽は、5～9世紀頃にかけて中国・朝鮮半島他、アジア各地から伝来した音楽や舞踊と、日本古来の歌舞等を源流とする芸能です。「世界最古のオーケストラ」とも言われ、平安時代におおよそ今の形（管・絃・打楽器を使用する「管絃」、舞と管・打楽器による「舞楽」など）に整えられました。

## 箏曲とは？

「箏」を中心として演奏される音楽の総称で、特に江戸時代（17～19世紀）に発展した音楽を指します。その作品の多くが三絃（三味線）と一緒に演奏され、西洋の器楽と違って弾き歌いを行うのが特徴です。今回上演される「葵の上」「初若菜」のように有名な物語を題材とした作品も数多くあります。

## 声明とは？

声明は、僧侶が仏教儀式で行う声楽の総称です。歌・語りのどちらの要素も持っており、その技法や音楽理論は、後の芸能に多大な影響を与えてきました。元々は法会など各宗派の宗教行事として1000年以上にわたり行われてきたものですが、その芸術性の高さから、現在では日本の伝統芸能の一ジャンルとして、様々な場で聴くことができるようになりました。

### 第七帖「紅葉賀」より 舞 楽 青海波

藤室宮の懐妊を喜んだ帝は、一の院（上皇）の誕生日をより盛大に祝う準備をさせます。式典に参加できない藤室のため、帝が特別に手の込んだ試楽（リハーサル）を行った際、光源氏と頭中将が献上した舞楽を上演します。

### 第九帖「葵」より 箏 曲 葵の上

賀茂祭の争い、葵の上の従者によって樂前で正妻と愛人の格差を晒されるという屈辱的な仕打ちを受けた六条御息所が生霊となって葵の上の枕元で恨み言を述べる場面を描きます。

### 第二十四帖「胡蝶」より 管 絃 皇聲急 催馬 楽 安名尊

住まいで船樂を催す場面です。親しい人を招いて夜まで管絃や舞を行いました。多数演奏された曲の中から、祝賀に際して奏される管絃と、六条院の榮華を称えて歌われた催馬楽を取り上げます。

### 第三十四帖「若菜上」より 箏 曲 初若菜

光源氏の四十歳の祝いの席を盛大に執り行うため、紫の上を始め世間が饗応の準備に明け暮れています。本作品では、源氏に縁のある人々が参上し楽しいひと時を過ごす様子が描かれます。

### 第四十帖「御法」より 舞 樂 法 会 陵 王 — 法華經千部供養より —

紫の上は体調が優れず出家を強く望みますが、源氏は許そうとしません。それならせめて、紫の上自身が発願した法華經千部の供養をしようと、盛大に法要が営まれました。声明は「法華八講」五巻目の内容から、舞樂は法樂として演奏された曲を取り上げます。



箏曲



伶楽舎（雅楽）



細井光司



中宮匡紀



小林勝也



山登松和



下野戸重彦



上村和香能



福原徹



天台聲明 七聲會（声明）



伊藤安那



下池沙知



カニサワライアコ  
（フレック）

令和6年 1月27日(土) 午後1時/午後5時開演  
(午後3時30分/7時30分終演予定)

【入場料金】1等席 5,500円 (学生 3,900円) 2等席 4,500円 (学生 3,200円)

※障害者の方は2割引です（他の割引との併用不可）。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。※インターネットでも学生料金、障害者割引による申し込みが可能です。※残席がある場合、公演会場にて当日券のみ窓口販売いたします（当日券窓口：12時～各部開演前）。

【予約開始】12月18日(月)午前10時

【電話】国立劇場チケットセンター（午前10時～午後6時）

0570(07)9900

03(3230)3000（一部IP電話等）

【インターネット】国立劇場チケットセンター 検索

【プレイガイド】チケットぴあ <https://t.pia.jp>  
e+ <https://eplus.jp/>



ご予約はこちら

※客席ではご飲食いただけません。また、ロビーでの飲食スペースは限られておりますので、あらかじめご了承ください。

新国立劇場 小劇場

渋谷区本町1-1-1 京王新線「初台駅」中央口直結

●都営新宿線乗り入れ/京王線は止まりません。  
●劇場地下に駐車場があります。ご観劇の際は、駐車料金を割引いたします。（駐車券をお持ちください）

伝統芸能を未来につなぐくろごちゃんファンド(国立劇場基金)  
～国立劇場各館の事業に、皆様のご支援をお願いいたします～  
お問合せは ▶ 03(3265)6719 くろごちゃんファンド 検索

